

# 公園の風景

## = トンボ、いっぱい!! =

トンボの季節を迎えています。アオモンイトトンボ、ムスジイトトンボ、シオカラトンボ、ショウジョウトンボなど 10 数種類の色も形もさまざまなトンボたちが静かに季節を謳歌しています。毎年4月ごろから羽化し始め、6・7月がトンボ生息の最盛期となります。絶滅危惧種 I A に指定され捕獲を禁じられているベッコウトンボもまだ姿を見ることが出来ます。日本では山口県と九州の一部でしか観ることの出来ないこのトンボ、興味のある方はお早めに公園にお出掛けください。ベッコウトンボのシーズンはもうすぐ終わります。



ショウジョウトンボ

## = 樹林、笑う =



笑う汽水池周囲の木々

5月は新緑の季節。公園でも、樹林帯の木や各池のまわりの木々たちが新芽を伸ばし、薫風と太陽の光を受けて美しく光輝いて見える。

この季節、山々の樹木が一斉に新芽を出し、遠目には新芽の部分が花が咲いたように見える様子を「山が笑う」と言う。公園の木々たちもいま正に笑いに充ち充ちて、新芽から放たれるがにおいも芳しい。木々の香りを嗅ぎ、初夏の日差しと風に当たっ

## = ミサゴの人工巣台 =

公園の東側に建設されたミサゴのための人工巣台は、未だ入居者の無いままに森閑としている。たまにミサゴがテッペンに止まっているのを観ることがあるが、興味をそそられないのか素っ気なく飛び去る。時にはカラスの休息所としてお役に立っていることもある。レンジャーたちは「来年の繁殖期には入居者が現れるだろう」と長期戦の構え。

コウノトリならぬミサゴ、早く赤ちゃんをつれて来ないかなあ……………